

お客様各位

2013年11月19日
サンテックパワージャパン株式会社

弊社の親会社であったサンテックパワーホールディングスの本年3月の転換社債償還不履行、ならびに、同月のグループ内中核子会社であった無錫サンテックパワーの中国における会社更生法申請を発端として、ここまで長期間にわたり、製品の安定供給と長期保証の継続、ひいては、弊社の事業継続性そのものに関し、皆様に多大なるご心配をおかけいたしました。

11月13日に発表させていただきましたとおり、会社更生法を申請しておりました無錫サンテックパワーは、香港上場企業の順風光電国際有限公司の傘下で、太陽光発電セル・モジュールの製造販売をつかさどる江蘇順風光電科技有限公司（以降江蘇順風と表記）から出資を受けることが決定しました。この再建案の中で、弊社、サンテックパワージャパン（株）はサンテックパワーホールディングス傘下から、上記、無錫サンテックパワーに移管され、従来通り日本での事業を行ってまいります。なお、江蘇順風の出資を含む本再建案は、その後、11月15日に中国江蘇省無錫市中級人民法院にて最終的に承認されました。これによって、会社更生法による無錫サンテックパワーの再建は終了したことになり、速やかに、管財人の管理から、順風グループのマネジメントへと引き継がれてまいります。

無錫サンテックパワーは今後も引き続き「サンテックパワー」ブランドを保有し、「サンテックパワー」ブランドのモジュールを生産してまいります。そして、その傘下において、サンテックパワージャパン（株）はサンテックパワーモジュールの日本での販売を従来通り継続いたします。

また、過去に販売させていただいた製品、ならびに、今後販売する製品すべてに対し、従来どおりの出力保証、製品保証、各種補償やアフターサービス等を、継続して提供させていただきます。

あらためまして、長期間にわたりサンテックパワーグループの信用不安によって、皆様にご心配、ご迷惑をおかけしてまいりましたことを深くお詫びしますとともに、このような状況にあっても弊社を支援し続けていただきましたことに対し、心より感謝申し上げます。どうぞ、引き続きのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

サンテックパワージャパン株式会社
代表取締役社長
山本豊